

平成25年度 附属学校研究支援経費 による研究成果概要報告書

報告者氏名・所属	奥崎 敏之 附属函館中学校副校長
研究期間	平成25年 4月 ～ 平成26年 3月
プロジェクトの名称	学校におけるタブレット PC の利活用に関する研究
プロジェクト担当者 (氏名・所属・職) ※代表者に○を付す こと	羽根田秀実 函館校教授・附属函館中学校長 池田 正 函館校准教授 ○奥崎 敏之 附属函館中学校副校長 宮野 健 " 教諭 松下 賢 教諭 松本 了祐 "
成 果 の 概 要	
<p>本プロジェクトでは、全校生徒一人一台のタブレット PC 環境を生かして、これまでアナログベースで進められてきた、学校の様々な紙ベースの取り組みを、電子的なものに置換することにより、生徒の学習スタイルや学校の営みがどのように変わっていくのかについて焦点をあてた研究を行った。</p> <p>学校では様々な書類が紙ベースで利用されているが、生徒の手元に pdf などの電子的なファイルを読む事ができる装置 (タブレット PC) が用意できれば、紙の配布が不要になることから、今年度の研究は、pdf ファイルを作成するソフトウェアを全職員に配布し、ワープロソフトで作成した文章を紙ではなく電子的に発行することや、複写機のスキャナー機能を使って紙の文章を電子化し、それをサーバーに置いて、生徒が閲覧する取り組みを行った。</p> <p>生徒会の議案審議書などは、これまで生徒会役員が苦勞して印刷し、生徒全員に配布していたのだが、今年度の取り組みでは、校内の WWW サーバー上にこのファイルを pdf 化して置き、各生徒がこのファイルをダウンロードして閲覧する形をとった。</p> <p>特に一過性の性質が強い文章では、この電子化による効果は高く、紙による配布ではすぐにゴミの山となった議案書が、手元のタブレットで難なく閲覧でき、生徒総会終了後はサーバー上に電子データがアーカイブされるという取り組みとなった。</p> <p>函館中では、現在、学級便りの電子的発行にも取り組んでおり、写真などが多用されたものについては、タブレットでの閲覧はとても便利で、保護者からも高い評価を得ている。</p> <p>また、学校祭で行われるグループ発表や演劇、合唱コンクールの様子を収めたビデオについても、サーバー上に掲載し校内で閲覧可能とする取り組みなども行い、学校の諸活動の記録について電子的に行う方法などについても研究を行った。</p>	
成 果 の 公 表 の 状 況	
附属函館中学校の Web ページに、平成25年度タブレット PC 導入資料として公表	
教育現場で活用可能な分野等	
<ul style="list-style-type: none"> ・電子化された学級便りの提供 (カラー写真などがノーコストでふんだんに盛り込める) ・生徒総会議案書などの一過性の紙文章の縮減 ・学校行事などの活動を収めた動画の視聴や共有 (DVD-R などの物理的メディアが不要) 	
配付可能な資料の有無	・附属函館中の Web ページにて閲覧が可能
ダウンロード可能なドキュメント	・平成25年度タブレット PC 導入資料
問い合わせ先	責任者：奥崎敏之 (副校長) 電 話：0 1 3 8 - 4 6 - 2 2 3 3 F A X：0 1 3 8 - 4 7 - 6 7 6 9 mail : hak-fuchu@h.hokkyodai.ac.jp